

支え合い新聞

NPO法人 志免地域支え合い互助基金

2020年 12月 第2号

この新聞は、NPO法人志免地域支え合い互助基金が発刊する新聞です。
志免町のなかにある多くの支え合いにスポットをあてる新聞です。
この町に こんなに多くの支え合いがあることを知ることによって心豊かに
安心して生活ができるように！ という祈りを込めて発刊する新聞です。
3ヶ月に一度のペースで発刊してまいります。
みなさま、どうぞよろしくお願い致します。

NPO法人 志免地域支え合い互助基金

理事長 下稲葉 康之



この作品が「支え合い シンボルマーク」に選ばれた作品です。

作者は、志免中学校3年生の宮島 煌（みやじま くら）さん。

※この作品は、原本をデジタル加工しております。

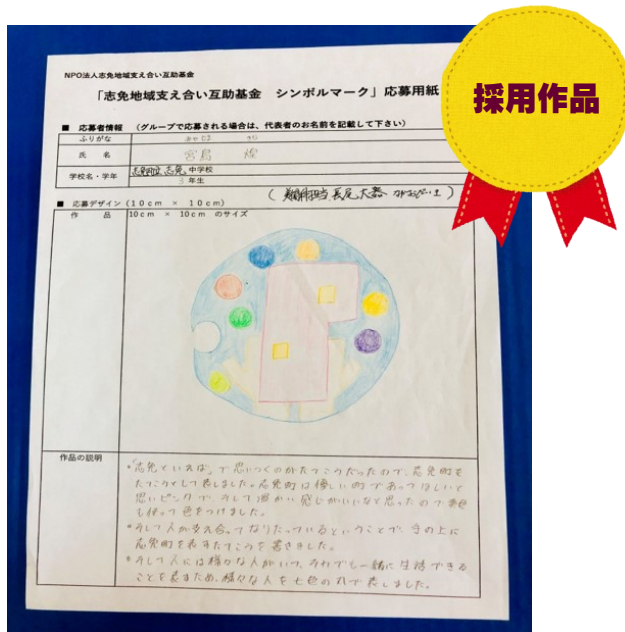
「支え合いシンボルマーク」
が決定しました(^^)/
今回は、
シンボルマーク特集です。

800人の志免町の
中学生が
応募をしてくれました。
皆さんの好みの作品は
どの マークですか？

この度、
「支え合いシンボルマーク」が
決定致しました。

まずもって、ご応募頂きました
志免中学並びに志免東中学校の
校長先生をはじめ、
多くの教職員の皆様方に、
心より感謝を申し上げます。
並びに、応募下さった
800人の学生の皆さまに対し、
心より感謝申し上げます。

★シンボルマーク採用作品 宮島 煌（みやじま きら）さん（志免中学校）



【マークに込めた想い】

- ・志免町が今よりもっと人の手に支えられ、そして人口が多いからこそ色々な人がいる中で、お互いの違いを認めあって支え合える町になって欲しいと思い、このデザインと優しい色合いにしました。
- ・このマークを見て少しでも多くの人が、この取り組みを知るきっかけの1つになったらいいなと思います。
- ・これからもっと志免町が、温かく、たくさんの人に愛される町になって欲しいです。

【宮島さんが今まで人生で体験した支え合い・助け合いで思い出に残っていることを教えてください。】

- ・私は、小学校時代からみんなの前に出る機会が多くなってきました。そのきっかけは、2人の友達でした。その子達は、自分の事よりみんなの事を考えたり、私だったら絶対に気づかないところまで気が回るのをみて、今度は自分がこの人達の役に立てる様になりたい！と思ったからでした。
- ・そして私は生徒会に立候補します。生徒会活動に於いては、会長や副会長がみんなの為に頑張ってくれているから、今度は私がみんなの見えないところでもその人達を支える事ができたらいいなと思い、書記として頑張りました。
- ・お互いが大変そうなときは他の生徒会メンバーが当たり前のように寄り添い、関わってくれ声かけをしてくれました。それが凄く嬉しかったし、助かりました。この人達と一緒に活動ができて良かったと思います。部活が忙しい時は部活を優先したり、生徒会の締め切りが近い時は生徒会を優先したり、それを理解して協力してくれた同じ部活のみんなと先生方、生徒会メンバーには感謝しかないし、常に支えられていたんだなと思います。

【最後に、宮島さんの将来の夢を教えてください】

- ・やってみたい事はいろいろありますが、まだこれだ！と決まっていません。ずーと想っていることは、「人のためになる」とか「誰かを笑顔にする」ような仕事をしたいと想っています。

みんなの為に自分は何が出来るのか？を、常に考えながら行動している宮島 煌さん。
そういう宮島さんだから、テニス部の部長と生徒会の書記を務めることが出来たと思います。
宮島さん、応援しています(^^) 宮島さんと知り合えて良かった(^^)と想える貴重なご縁を頂きました。

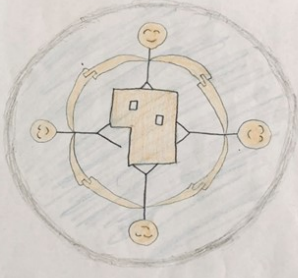
理事長イチオシで賞 作品 村田 雅人（むらた まさと）さん（志免中学校）

NPO法人志免地域支え合い互助基金
「志免地域支え合い互助基金 シンボルマーク」応募用紙

■ 応募者情報（グループで応募される場合は、代表者のお名前を記載して下さい）

ふりがな	
氏名	村田 雅人
学校名・学年	志免町立志免中学校 3年生

■ 応募デザイン（10cm × 10cm）
作品 10cm × 10cm のサイズ



作品の説明
大衆の心から手をつなぎ支え合って生きている

- 理事長イチオシで賞を受賞されましたのは志免中学校3年生の村田雅人さんです。
- 村田さんがこの作品に込めた想いをご紹介します。「志免の人々が、手をつなぎ、支え合って 生きている」この想いをマークに込めて頂きました。
- 写真ではわかりにくいかもしれませんが手を差し出している4人の方は、いずれも笑顔。堅坑を笑顔の人達が手を繋ぎ合って囲んでいる。手を繋ぎ合った結果、輪となり、和が生まれ、笑顔の丸い円になり、志免全体が笑顔で包まれる縁多い街になっている様子を描いて頂いているかの様です。
- 私達も、村田さんが描いて下さった町に発展する為に、お役に立てればと想っています。

村田さん、ありがとうございました(^^)／

ユニークな作品で賞 作品 小島 利那（こじま りな）さん（志免中学校）

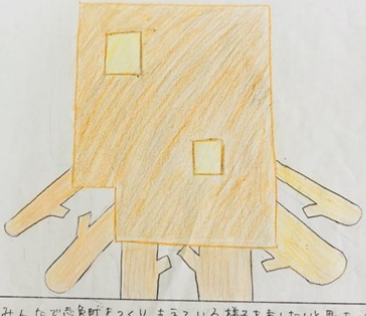
- ユニークな作品で賞を受賞されましたのは志免中学校3年生の小島利那さんです。
- 小島さんがこの作品に込めた想いをご紹介します。「みんなで志免町をつくり、支えている様子を表現したいと思ったので、みんなの手で堅坑を支えているマークにしました。堅坑の穴を黄色にしたのは、そこを覗いた時に見える志免町が、輝いていますように！という想いがあるからです。今のぞいた時より未来にのぞいた時に、より輝いた志免町が見えるといいなと思います。堅坑をオレンジ色っぽくしたのは、志免町の温かさを表すためです」という想いがこもった作品です。
- 志免町のシンボルである堅坑を、志免町住民がしっかり支え、その支えが根っことなりしっかりした土台になっています。この支え合いの土台が大きければ大きいほど、小島さんの願いである「輝いている志免」に近づいていくのでしょうか。

NPO法人志免地域支え合い互助基金
「志免地域支え合い互助基金 シンボルマーク」応募用紙

■ 応募者情報（グループで応募される場合は、代表者のお名前を記載して下さい）

ふりがな	
氏名	小島 利那
学校名・学年	志免町立志免中学校 3年生

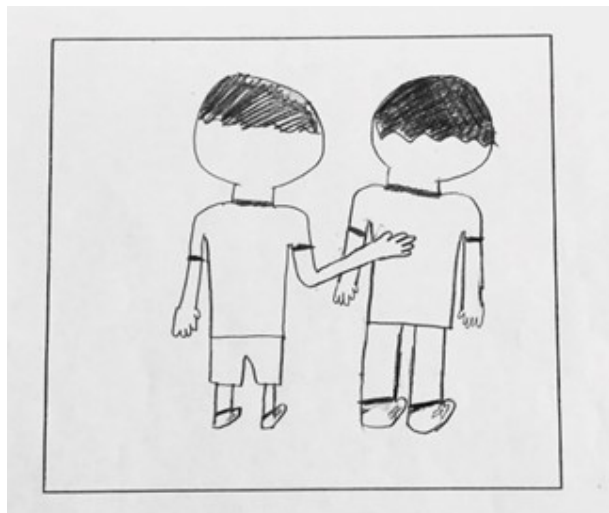
■ 応募デザイン（10cm × 10cm）
作品 10cm × 10cm のサイズ



作品の説明
みんなで志免町をつくり、支えている様子を表現したいと思ったので、みんなの手でマコを支えているマークにしました。マコを黄色にしたのは、そこを覗いた時に見える志免町が、輝いているようにという想いがあるからです。今のぞいた時より未来にのぞいた時に、より輝いた志免町が見えるといいなと思います。マコをオレンジ色っぽくしたのは、志免町の温かさを表すためです。

小島さん、ありがとうございました(^^)／

カワイイ作品で賞 作品 宮本 青空 (みやもと そら) さん (志免東中学校)



- カワイイ作品で賞を受賞されましたのは
志免東中学校3年生の宮本青空さんです。
- 宮本さんがこの作品に込めた想いをご紹介します。
「友達が落ち込んでいる時に、一番仲のいい友達が話を聞こうとしている時の様子」を、支え合いのマークとして表現してくれました。
- いづれも丸刈りで、体操着に長ズボンと半ズボンをはいた男性が2人。いづれも東中の靴を履き、後ろ姿になっています。もしかしたら、向かって右側の男性が目には涙をためているのかもしれませんが、1人がもう1人の背中に手をやり、背中をさすっている様に見えます。
何とも味のある支え合い描写です。
- 宮本君が20歳を過ぎた頃、一緒に酌み交わしたい様な気になる作品でした。

宮本さん、ありがとうございました(^^)/

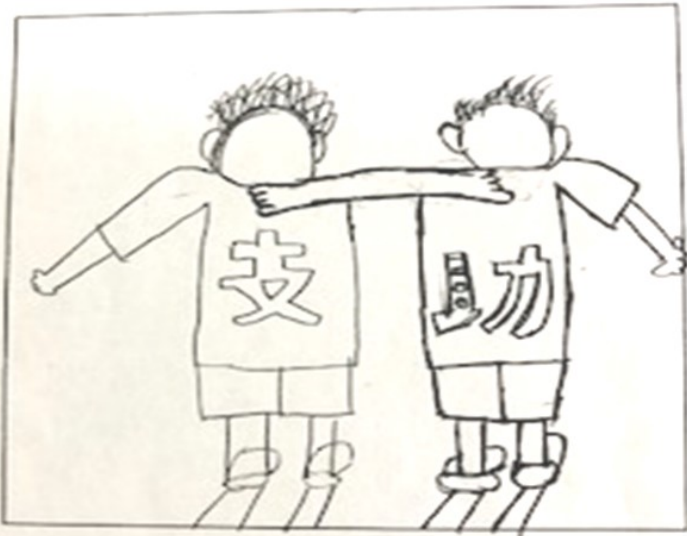
アイデア賞 作品 森田 優守 (もりた ゆうま) さん (志免中学校)

- アイデア賞を受賞されましたのは、
志免中学校3年生の森田優守さんです。
- 森田さんがこの作品に込めた想いをご紹介します。
「真ん中にあるのは、志免町のシンボルでもある竪坑櫓です。パズル化した理由は、皆で志免町を創りあげる！という想いが込められています。そして、志免町に虹がかかる様な良い町にしよう！という意味が込められています」と、その想いを語って下さいました。
- 竪坑櫓をパズル化するあたり、とても面白い表現方法でありその意図を、みんなで虹がかかるほどの良い町に創りあげよう！にあると言われています。
向かうべき地点をしっかりと定め、そこに行きつくには、多種多様な個性と個性の組み合わせでいかようにも組み合わせる事ができるとしたところに、森田さんの奥深さがあると思いました。



森田さん、ありがとうございました(^^)/

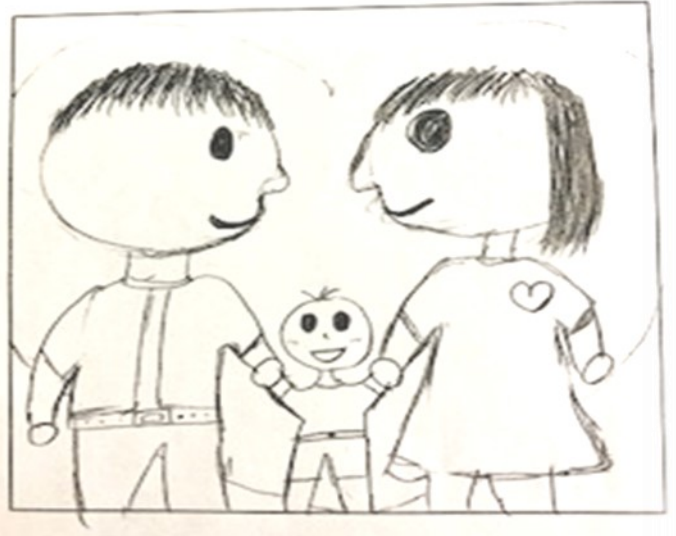
特別賞 川上煌翔 (かわかみかいと) さん (志免東中学校)



肩を組み、いついかなる時でも共に支え合い、助け合いをしながら生きていこうと表しています。

川上さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 新垣こゆき (あらがきこゆき) さん (志免東中学校)



1人じゃ出来なくても、みんなで支え合えば必ずできるという事をイメージし、家庭をテーマに描きました。皆で助け合い支え合うと、とても幸せなんだよという意味を含めました。

新垣さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 田頭輝人 (たがみあきひと) さん (志免中学校)



友達と堅坑を現した絵。

田頭さん、ありがとうございました(^^) /

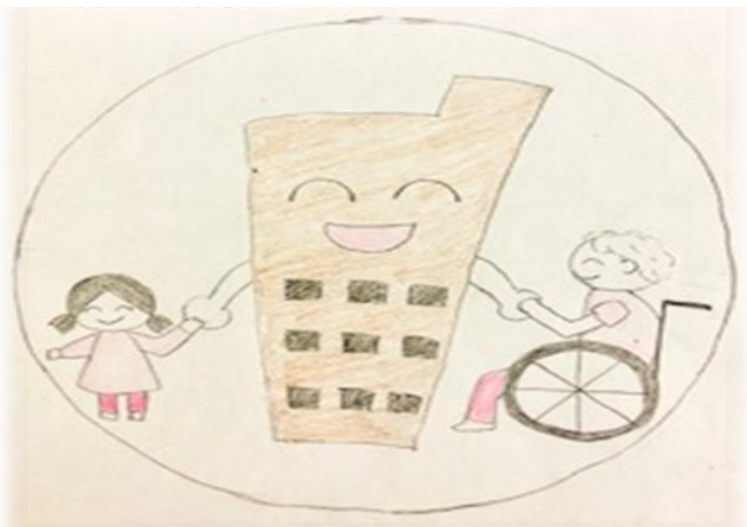
特別賞 清永明日香 (きよながあすか) さん (志免中学校)



“支え合い”がテーマなので、ハートの中に支え合っている人と、志免町のシンボルの堅坑を描きました。ハートを支えている手は、2人で支えて“支え合い”を表現してみました。

清永さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 鈴木心雪 (すずきこゆき) さん (志免中学校)



志免町と言えば堅坑なので、堅坑を真ん中にしました。そして志免町は人口が多く、特に子供とお年寄りの方が多いと感じていたなので、堅坑と子供とお年寄りが手を繋ぎ合って支え合う様子を描きました。

鈴木さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 吉原安南 (よしはらあんな) さん (志免中学校)



沢山の人が笑顔で支え合う事で、町を見守ったりするのを表現したかったので人々の顔をハートの形になる様においたり、小さな子や大人、外国の方など差別のない町になって欲しいという想いが込められていて、ハートの中に町みたいなのを入れる事で町民にとって大切な町という事と、今の平和な町を表しています。

吉原さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 久保山和湖 (くぼやまわこ) さん (志免中学校)



最初は、2人で手を取り合っているマークにしようと考えたのですが、「みんな」で支えるので、2人では足りないと思い、4人を描きました。ピンクは女性。青は男性。黒は、身体は女性でも気持ちは男性の人。黄緑は、身体は男性でも気持ちは女性の人。それぞれの良さを活かして描きました。そして、みんな「支える」事が大事なので真ん中に「支」を描きました。

久保山さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 大岩晴香 (おおいわはるか) さん (志免中学校)



堅坑櫓を守る・支え合うという事を考えて描きました。あと、志免町のシンボルの堅坑櫓や桜を使って志免町を表しました。

大岩さん、ありがとうございました(^^) /

特別賞 別宮楓花（べつみやふうか）さん（志免中学校）



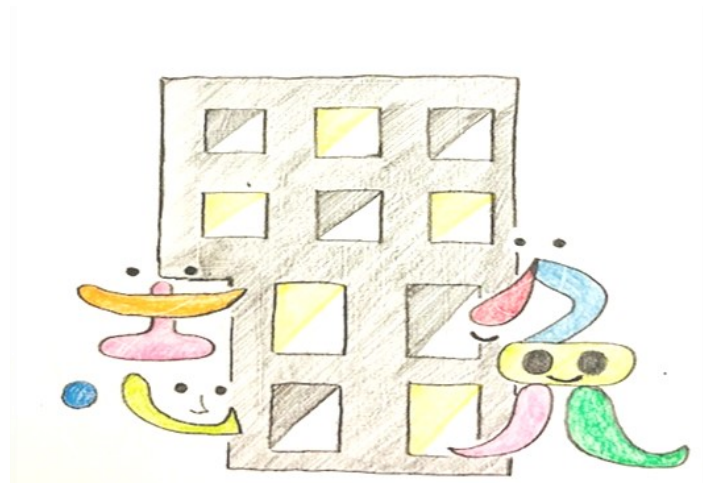
志免町には小さな子供からお年寄りまでたくさんの方が住んでいて、交流する機会も多いのでおじいちゃんとおばあちゃんを描きました。

また志免町のシンボルとしていつも見守ってくれている竪坑を描きました。

虹で支え合い・助け合い・地域みんなの繋がりを表現しました。

別宮さん、ありがとうございました(^^)／

特別賞 大倉聖也（おおくらせいや）さん（志免中学校）



竪坑を守るのは志免。志免を守るのは志免町の住民の支え合い・助け合いがあるということ表現しました。志免の中に4人の笑顔を描いて、志免を支えているところを表現しました。

この4人は志免町住民で、全員笑顔という事で志免町は良い所だとわかります。

大倉さん、ありがとうございました(^^)／

特別賞 黒川凜々子（くろかわりこ）さん（志免中学校）



志免町を、いろいろな人が支え、助け合うという事を表しています。

手が人で、周りがあるのが志免町です。

黒川さん、ありがとうございました(^^)／

この企画でご尽力を頂いた皆さまのご紹介

今回の企画が実現したのは、事務局が飛び込みで企画提案をさせて頂いたにも関わらず、志免中学・志免東中学の両教頭先生が、その趣旨に賛同して下さったお陰でした。両校とも美術の授業で取り上げて下さり、お忙しい時期にも関わらず熱心に取り組んで頂きました。

その結果、800人の学生さんがこの支え合いシンボルマーク募集に応募して下さいました。

お世話になりました両校関係者の皆さま、誠にありがとうございました。心より御礼を申し上げます。以下に、特にお世話になりました先生方をご紹介します。

★志免中学校	校長	松枝 克行 様
	教頭	堺 英典 様
	美術	長尾 大器 様

★志免東中学校	校長	川口 哲也 様
	教頭	仲村 夏江 様
	美術	山本小百合 様

お互いさ★マン



“支え合い”の活動を始めたい!

“支え合い”の活動を始めるにあたり、仲間が欲しい!

私達 NPO法人志免地域支え合い互助基金は、そんな皆様の貴重な想いを、資金面や人との繋がり等々のこと等を含め支えて行こう!と決意し、立ち上げた非営利活動法人です。

今からの時代、この「支え合う」その気持ちと自分ができる範囲での活動なくて住みにくい時代になることが予想されています。

皆さまが暮らす志免町が永遠に住みやすい町であり続ける為に頑張ります。皆さん、どうぞご相談ください。

【編集後記】

第2号は、支え合いシンボルマーク募集企画に於いて、受賞された作品をご紹介させて頂きました。

次代を担う中学生の皆さんが、こんなにも志免町を愛し、人と人が繋がる事が幸せや輝かしい町への発展に繋がると確信している事を知りました。頼もいです。私も1人の社会人として、彼ら・彼女らと共に頑張ります(^^) 鷹尾

〈作者紹介〉



4コマ漫画 作：長谷川賢史 (ハセガワ サトシ)

1970年生まれの50歳。

40歳の時に若くして脳出血を患う。

以後、リハビリ生活を送ることに…。

努力が実り、現在は社会医療法人栄光会の職員として、医療介護施設かめやま内にある売店のスタッフとして従事する傍ら、貼り絵や4コマ漫画の作家としてのチャレンジも行う。

好きな言葉 『地道de努力』

新聞つくりスタッフ

大募集!!

支え合い新聞では、共に新聞つくりをしてくれるボランティアスタッフを大募集中です!!

新聞つくりの経験 や 年齢 等々における制限はありません。

最も必要とするのは、志免町が好き、人が好き、そして、やる気!!です。

我こそは!と思う皆さん、老若男女どなたでもOKです。奮ってご応募ください。

お待ちしております——す。

【応募連絡先】

NPO法人 志免地域支え合い互助基金

事務局 鷹尾 (タカオ) まで。

電話 **092(692)1512**

〒811-2205 福岡県糟屋郡志免町別府2-2-1
医療介護施設かめやま内